

令和3年8月2日発行

ふる里からの 「ふるさと」 8月号

今年の指針 “緒”

HP検索:

あかるく やわらかく やさしく
社会福祉法人 啓明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 亀橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

デイサービスセンターふる里



“日本勢大活躍 東京オリンピック！”

東京オリンピックで連日活躍中の日本選手団です。23日の開会式前には、21日に女子ソフトボール“日本対メキシコ”、女子サッカー“日本対カナダ”の試合。22日には、女子ソフトボール“日本対オーストラリア”、男子サッカー“日本対南アフリカ”の試合がありました。女子サッカーは最後の最後に同点ゴールを決め、その他は、日本の勝利で幕が開きました。私が感動したのは『開会式』アニメや日本古来の文化を利用したの演出。素晴らしい開会式でした。今、前半三分の一の日程を終了したところですが、今回の大会は、コロナの蔓延で「中止か！開催か！」で、もめていて、すっかりしない大会ではありましたが、私自身大会が開催され、利用者の方々やTVで応援できるので、中継されたことをとても喜んでます。

長崎市出身の永瀬貴規選手が柔道81kg級で金メダルを獲得した7月27日と同じ日に日本ソフトボールチームが宿敵アメリカに勝って2回連続の金メダル獲得に嬉しくて嬉しくて正に狂喜乱舞でした。翌日、『海越えかなえた“麗しき夢”』と題して新聞に宇津木麗華監督の記事が出ていました。

♪『日本と中国。二つの国を隔て、繋げているのが東シナ海。東京五輪の1年延期が決まった2020年3月末。緊急事態宣言が出される前、心身の療養を兼ねて宇津木麗華監督は、生活拠点の群馬県高崎市を離れ、沖縄にいた。眼前の海原を見つめつづやいた。「お墓はいらない。私は死んだら、海へ帰りたい」

♪24歳の春、中国名「任彦麗(にんえんり)」は、宇津木妙子さん(元日本代表監督)に憧れて来日。1995年日本国籍を取得し「宇津木麗華」と名乗った。好機で打てないと「中国へ帰れ」とやじられ、泣いた。「日本人になって頑張ってたたくさん打ったのに……。打てなかった一度を責められるのか。」誰もが期待する場面で必ず打つと心に誓った。

♪「私にとってソフトボールは夢であり人生。九州は上野由岐子が生まれ育った場所。その読者に思いや考えを伝えたかった」選手で五輪に2度出場。指導者としても世界選手権を制した。本紙コラムの執筆を依頼すると、快諾してくれた。タイトルは「麗しき夢」。亡き両親から授かった大切な「麗」の一字には真っすぐ、いちずの意がある。言葉の壁から人前でしゃべるのは苦手、カラオケはやらない。好きな曲はある。「糸」だ。「縦の糸はあなた 横の糸は私 織りなす布は いつか誰かを 暖めうるかもしれない」をソフトボールに置き換える。「選手と私で糸を紡いで、ハリウッド(スターが集まった)チームの米国を倒す。誰もが期待する大一番に臨んだ」一年の延期を「天の配列」と受け止め、後藤希友(みう)を抜てき。20歳の左腕は救世主になった。投打「二刀流」の実力を誰もが認めながら、やんちゃな一面を持っていた藤田倭(やまと)【長崎県佐世保市出身】は、「心をコントロールできれば、上野に並ぶ『日本の顔』になれる」と背中を押した。♪押した大会前に調子を落としていた藤田倭(やまと)は打者として3本塁打。投げて1次リーグ最終戦で打たせて取る投球に徹し、決勝の上野と後藤につないだ。「チームは家族。先輩は姉、後輩は妹と思い、愛情をもって接しなさい。17歳で失った母の教えを胸に、選手の心を束ねて戦ってきた。」福島の夏空の下で始まった13年ぶりの挑戦は、横浜の夜空の下で完結した、58歳の日焼けした頬を涙が流れた。上野と抱き合うと、おえつに変わった。「運は天に任せてはいけない。自分でつかむもの」。2021年7月27日。麗しき将の夢に、新たな「日付」が刻まれた。

湖畔の宿ふる里で応援拍手されるお姿に「スポーツはしゃべらなくても見ている者の心をつないでくれる。」と感じました。私と皆さんとは、陽気に毎日を過ごしています。センター長 森 隆敏

7月行事



7月行事は、13日、14日、15日の3日間『涼(りょう)・盛(せい)・夏(か)』と題して行事を開催しました。1日目の「コロコロキャッチ」というレクは、2チームに分かれ、雨どいを使い5種類のボールを転がし、そのボールをお玉や箸を使ってうまくキャッチできるか？というものでした。とても白熱し皆さん真剣にプレイされ僅差で勝敗が決するほど良いゲームでした。2日目と3日目は「タワーに上手く乗せてみそ」というレク。2チームに分かれ、4段のタワーに1人3個のお手玉を投げ乗った所に応じて点数を獲得するというものでした。3回戦の合計点数で競い合いました。タワーには届くものなかなか上手に乗らない方やスパッ♥とタワーに乗せる方もいて驚きました。最後は敵味方関係なくタワーに乗った際には歓声が沸き起こり全体が一体になっている感じがする素晴らしいレクでした。『涼(りょう)・盛(せい)・夏(か)』というテーマに沿った行事で、フロアの中で涼みながらも大変盛り上がった行事となりました。

例年7月行事は、恒例の流しそうめんを行う予定でしたが、コロナ禍により感染防止のため中止し、代わりに手作りの竹の器でそうめんを食べてもらいました。竹の器で食べることで夏らしく涼しさを楽しんでもらいより一層盛り上がったように感じました。



1日目 コロコロキャッチ



2,3日目 タワーに上手く乗せてみそ



レクリエーションを担当する司会者は、3日間とも、華やかな浴衣を着て登場しました。曲に合わせて踊りながら登場し、皆さんも拍手されるなどその場が大変盛り上がりました。レクの進行中中庭では、男性職員3人で厨房と協力しながら“焼き鳥”と“チャーハン”をつくりました。これからの暑い夏を乗り切るためにモリモリ食べていただきました。約50人分のお米を炒めるのは混ぜるのに力が必要でとても苦勞しました。利用者の方々には美味しかったと言ってもらったのでとても嬉しかったです。来年はもう少し上手に炒められるように練習しておこうかなと思います。

行事担当 中邑典子、白石奈智子



行事紹介♪



杏仁豆腐



黒豆餅



水ようかん

訪問ボランティア

地域ボランティアの方々による本の読み聞かせの訪問が毎月あり、今月は7月29日(木)でした。今月は、読み聞かせの他に、オカリナの演奏もあり皆さんとても楽しんでおられました。特にオカリナの演奏では、アンコールにも応じてくださり計4曲も披露して下さいました。帰りの車中でも話題でした。本当に有難うございました。



在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生み出されるように取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。



お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。

8月の行事予定



◆ふる里 8月行事 『お祭り☆ワッショイ』
8月17日(火)・18日(水)・19日(木)

◆生花教室～齊藤マサミ先生～ 6日(金)・31日(火)

◆書道教室～中村 朱実 先生～ 5日(木)・23日(月)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 20日(金)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村壽美子先生～ 24日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(4日、11日、18日、25日予定)



今月の作品



書道教室



押し花教室



生け花教室

近日放送されているオリンピックを皆さんはご覧でしょうか。私はスポーツ観戦がとても好きなので食い入るように観ています。特に好きでよく観るのは、サッカーと陸上です。中高とサッカー部に所属していたこともあり日本代表戦などは欠かさず見えています。陸上は主に中、長距離が好きで今回出場されている長崎県出身の廣中選手には特に注目しています。同世代の方々がオリンピックという最高の舞台上で自分の持てる力を発揮している様を見ると、こっちはガンバラなきゃなあという気持ちも伝わります。これからも皆さんで日本代表を応援していきましょう。

編集後記 三岳由弥